

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	Y I C 情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人Y I C 学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業	情報工学科	夜・通信	300 単位時間	240 単位時間	
	メディアデザイン科	夜・通信	180 単位時間	160 単位時間	
商業実務	情報ビジネス科	夜・通信	180 単位時間	160 単位時間	
	ホテルブライダル科	夜・通信	180 単位時間	160 単位時間	
	医療事務学科	夜・通信	210 単位時間	160 単位時間	
	ペット総合学科	夜・通信	180 単位時間	160 単位時間	
工業	大学併修科	夜・通信	320 単位時間	320 単位時間	
(備考) 国際ビジネス学科は募集を停止しているため支援対象者の在籍なし					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ上 https://www.yic.ac.jp/ib/disclosure

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	Y I C 情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 Y I C 学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ上 https://www.yic.ac.jp/ib/disclosure
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社エムビーエス 代表取締役	2025/5/22～2029/定時 理事・評議員会まで	管理・運営に関する 意見具申およびガ バナンス強化
非常勤	学校法人龍馬学園 理事長	025/5/22～2029/定時 理事・評議員会まで	管理・運営に関する 意見具申およびガ バナンス強化
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	Y I C 情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 Y I C 学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
授業を講義、演習、実習という3つの履修方法に分け、資格や検定に向けた座学中心の科目を講義、ビジネスマナーやパソコンといった実技を伴う科目を演習、学外で行われるインターンシップや企業実習などの科目を実習としている。 各学科においてディプロマポリシーを満たすことを到達目標としている。 また年2回の教育課程編成委員会において当該業界・企業・団体の外部委員の方からの意見を参考に授業計画を策定し、それを基に作ったシラバスをホームページ上にて公表している。尚、公表時期は8月末を予定している。	
授業計画書の公表方法	ホームページ上 https://www.yic.ac.jp/ib/disclosure
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
学習意欲の観点では各科目において欠課が授業時数の1/3を超える者については学習意欲が欠如しているとみなす。そのため、その対象者については授業時間外に補講を課すことがある。試験は前期末試験と後期末試験の2回を1年間に各期末時期に実施する。またインターンシップ等の学外実習の授業については、実習終了後にレポートの提出を求める。それら定期試験やレポートなどの結果や提出の有無を総合的に評価し単位を付与する。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 以下の GPA 制度を設定し、ホームページ上にて公表。 ① GP は秀、優、良、可、不可評価の各評価に対し、4、3、2、1、0 の順に付与する。 ② GPA は、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下二位未満の端数があるときは、これを四捨五入する。 $\text{GPA} = \frac{\text{【履修科目の単位数} \times \text{GP】の合計}}{\text{履修した科目の総単位数}}$ 各授業のシラバスにおける成績評価方法に従い成績評価を実施。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページ上 https://www.yic.ac.jp/ib/disclosure
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 学校関係者評価委員会および教育課程評価委員会の意見をもとにディプロマポリシーを策定しホームページ上にて公表。 以下の卒業要件のもと卒業判定会議を経て卒業を認定。 卒業年次の年度末において次の要件のすべてを満たしていること。 a. 各学科の定める強化科目のうち、必修科目、選択必修科目の成績評価がすべて可以上であり、卒業必要時間数(単位数)を習得している。 b. すべての校納金(学費、教材費等)が納められていること。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページ上 https://www.yic.ac.jp/ib/disclosure

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	Y I C 情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 Y I C 学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.yic.ac.jp/ib/disclosure
収支計算書又は損益計算書	https://www.yic.ac.jp/ib/disclosure
財産目録	https://www.yic.ac.jp/ib/disclosure
事業報告書	https://www.yic.ac.jp/ib/disclosure
監事による監査報告（書）	https://www.yic.ac.jp/ib/disclosure

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程	情報工学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2700 単位時間／単位	780 単位時間	2190 単位時間	540 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			3510 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90 人		89 人	0 人	5 人	1 人	6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業を講義、演習、実習という3つの履修方法に分け、資格や検定に向けた座学中心の科目を講義、ビジネスマナーやパソコンといった実技を伴う科目を演習、学外で行われるインターンシップや企業実習などの科目を実習としている。 各学科においてディプロマポリシーを満たすことを到達目標としている。 また年2回の教育課程編成委員会において当該業界・企業・団体の外部委員の方からの意見を参考に授業計画を策定し、それを基に作ったシラバスをホームページ上にて公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 以下の GPA 制度を設定し、ホームページ上にて公表。 ① GP は秀、優、良、可、不可評価の各評価に対し、4、3、2、1、0の順に付与する。 ② GPA は、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下二位未満の端数があるときは、これを四捨五入する。

【履修科目の単位数×GP】の合計 GPA＝ 履修した科目の総単位数	
各授業のシラバスにおける成績評価方法に従い成績評価を実施。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 学校関係者評価委員会および教育課程評価委員会の意見をもとにディプロマポリシーを策定しホームページ上にて公表。 以下の卒業要件のもと卒業判定会議を経て卒業を認定。 卒業年次の年度末において次の要件のすべてを満たしていること。 a. 各学科の定める強化科目のうち、必修科目、選択必修科目の成績評価がすべて可以上であり、卒業必要時間数（単位数）を習得している。 b. すべての校納金（学費、教材費等）が納められていること。	
学修支援等	
（概要） クラス担任だけでなく就職に関してはキャリアサポート室職員による支援があり、悩みや課題の相談窓口としては学生相談支援係がある。 費用面のサポートとして、公共交通機関を利用しておおむね1時間以上通学に時間がかかる学生には遠距離サポート制度（毎月3000円支給）や、一人暮らしの学生（公共交通機関を利用した場合、おおむね1時間30分以上かかる場合）にはひとりぐらしサポート制度（毎月5000円支給）がある。 ただし以下の学生がひとりぐらしサポート制度を利用する場合は金額が異なる。 隣県（広島、福岡、島根）からの入学者⇒毎月1万円支給 その他の都道府県からの入学者⇒毎月2万円支給	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21人 (%)	0人 (0%)	21人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） ソフトウェア開発、システム開発、インフラ開発			
（就職指導内容） 学内企業説明会開催、履歴書、エントリーシートの添削、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 基本情報技術者試験、セキュリティマネジメント試験、ITパスポート試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
94 人	7 人	7.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学校満足度調査、三者面談等の実施		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	メディアデザイン科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1740 単位時間	330 単位時間	1410 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1740 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		36 人	0 人	1 人	1 人	2 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業を講義、演習、実習という3つの履修方法に分け、資格や検定に向けた座学中心の科目を講義、ビジネスマナーやパソコンといった実技を伴う科目を演習、学外で行われるインターンシップや企業実習などの科目を実習としている。 各学科においてディプロマポリシーを満たすことを到達目標としている。 また年2回の教育課程編成委員会において当該業界・企業・団体の外部委員の方からの意見を参考に授業計画を策定し、それを基に作ったシラバスをホームページ上にて公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 以下の GPA 制度を設定し、ホームページ上にて公表。 ① GP は秀、優、良、可、不可評価の各評価に対し、4、3、2、1、0の順に付与する。 ② GPA は、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下二位未満の端数があるときは、これを四捨五入する。 $GPA = \frac{\text{【履修科目の単位数} \times \text{GP】の合計}}{\text{履修した科目の総単位数}}$ 各授業のシラバスにおける成績評価方法に従い成績評価を実施。
卒業・進級の認定基準

(概要) 学校関係者評価委員会および教育課程評価委員会の意見をもとにディプロマポリシーを策定しホームページ上にて公表。 以下の卒業要件のもと卒業判定会議を経て卒業を認定。 卒業年次の年度末において次の要件のすべてを満たしていること。 a. 各学科の定める強化科目のうち、必修科目、選択必修科目の成績評価がすべて可以上であり、卒業必要時間数（単位数）を習得している。 b. すべての校納金（学費、教材費等）が納められていること。
学修支援等 (概要) クラス担任だけでなく就職に関してはキャリアサポート室職員による支援があり、悩みや課題の相談窓口としては学生相談支援係がある。 費用面のサポートとして、公共交通機関を利用しておおむね1時間以上通学に時間がかかる学生には遠距離サポート制度（毎月3000円支給）や、一人暮らしの学生（公共交通機関を利用した場合、おおむね1時間30分以上かかる場合）にはひとりぐらしサポート制度（毎月5000円支給）がある。 ただし以下の学生がひとりぐらしサポート制度を利用する場合は金額が異なる。 隣県（広島、福岡、島根）からの入学者⇒毎月1万円支給 その他の都道府県からの入学者⇒毎月2万円支給

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (%)	0 人 (%)	0 人 (%)	0 人 (%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） 面接対策、履歴書指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） Web デザイナー検定、SNS マーケティング検定、Web クリエイター能力認定試験			
（備考）（任意記載事項） 2024 年度募集開始のため卒業者無し			
中途退学の現状			
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数		中退率
19 人	2 人		10.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更のため			

(中退防止・中退者支援のための取組)
学校満足度調査、三者面談等の実施

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	情報ビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1740 単位時間	390 単位時間	1380 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1770 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		26 人	0 人	1 人	1 人	2 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
(概要) 授業を講義、演習、実習という3つの履修方法に分け、資格や検定に向けた座学中心の科目を講義、ビジネスマナーやパソコンといった実技を伴う科目を演習、学外で行われるインターンシップや企業実習などの科目を実習としている。 各学科においてディプロマポリシーを満たすことを到達目標としている。 また年2回の教育課程編成委員会において当該業界・企業・団体の外部委員の方からの意見を参考に授業計画を策定し、それを基に作ったシラバスをホームページ上にて公表している。	
成績評価の基準・方法	
(概要) 以下の GPA 制度を設定し、ホームページ上にて公表。 ① GP は秀、優、良、可、不可評価の各評価に対し、4、3、2、1、0の順に付与する。 ② GPA は、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下二位未満の端数があるときは、これを四捨五入する。 $\text{GPA} = \frac{\text{【履修科目の単位数} \times \text{GP】の合計}}{\text{履修した科目の総単位数}}$ 各授業のシラバスにおける成績評価方法に従い成績評価を実施。	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 学校関係者評価委員会および教育課程評価委員会の意見をもとにディプロマポリシーを策定しホームページ上にて公表。 以下の卒業要件のもと卒業判定会議を経て卒業を認定。 卒業年次の年度末において次の要件のすべてを満たしていること。 a. 各学科の定める強化科目のうち、必修科目、選択必修科目の成績評価がすべて	

可以上であり、卒業必要時間数（単位数）を習得している。 b. すべての校納金（学費、教材費等）が納められていること。
学修支援等
（概要） クラス担任だけでなく就職に関してはキャリアサポート室職員による支援があり、悩みや課題の相談窓口としては学生相談支援係がある。 費用面のサポートとして、公共交通機関を利用しておおむね１時間以上通学に時間がかかる学生には遠距離サポート制度（毎月３０００円支給）や、一人暮らしの学生（公共交通機関を利用した場合、おおむね１時間３０分以上かかる場合）にはひとりぐらしサポート制度（毎月５０００円支給）がある。 ただし以下の学生がひとりぐらしサポート制度を利用する場合は金額が異なる。 隣県（広島、福岡、島根）からの入学者⇒毎月１万円支給 その他の都道府県からの入学者⇒毎月２万円支給

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
22 人 (%)	0 人 (0%)	20 人 (90%)	2 人 (9%)
（主な就職、業界等） インターネット付随サービス業、販売・接客業			
（就職指導内容） 学内企業説明会開催、履歴書、エントリーシートの添削、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 経済産業省 IT パスポート試験、Word・Excel・PowerPoint 試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
34 人	2 人	5.8%
（中途退学の主な理由） 進路変更のため		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学校満足度調査、三者面談等の実施		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	ホテルブライダル科		○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類						
			講義	演習	実習	実験	実技		
2 年	昼	1800 単位時間	450 単位時間	1350 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位		
			1800 単位時間／単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数
40 人		23 人	0 人		1 人		1 人		2 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 授業を講義、演習、実習という3つの履修方法に分け、資格や検定に向けた座学中心の科目を講義、ビジネスマナーやパソコンといった実技を伴う科目を演習、学外で行われるインターンシップや企業実習などの科目を実習としている。 各学科においてディプロマポリシーを満たすことを到達目標としている。 また年2回の教育課程編成委員会において当該業界・企業・団体の外部委員の方からの意見を参考に授業計画を策定し、それを基に作ったシラバスをホームページ上にて公表している。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 以下の GPA 制度を設定し、ホームページ上にて公表。 ① GP は秀、優、良、可、不可評価の各評価に対し、4、3、2、1、0の順に付与する。 ② GPA は、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下二位未満の端数があるときは、これを四捨五入する。 $GPA = \frac{\text{【履修科目の単位数} \times GP \text{】の合計}}{\text{履修した科目の総単位数}}$ 各授業のシラバスにおける成績評価方法に従い成績評価を実施。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 学校関係者評価委員会および教育課程評価委員会の意見をもとにディプロマポリシーを策定しホームページ上にて公表。 以下の卒業要件のもと卒業判定会議を経て卒業を認定。 卒業年次の年度末において次の要件のすべてを満たしていること。 a. 各学科の定める強化科目のうち、必修科目、選択必修科目の成績評価がすべて	

可以上であり、卒業必要時間数（単位数）を習得している。 b. すべての校納金（学費、教材費等）が納められていること。
学修支援等 （概要） クラス担任だけでなく就職に関してはキャリアサポート室職員による支援があり、悩みや課題の相談窓口としては学生相談支援係がある。 費用面のサポートとして、公共交通機関を利用しておおむね1時間以上通学に時間がかかる学生には遠距離サポート制度（毎月3000円支給）や、一人暮らしの学生（公共交通機関を利用した場合、おおむね1時間30分以上かかる場合）にはひとりぐらしサポート制度（毎月5000円支給）がある。 ただし以下の学生がひとりぐらしサポート制度を利用する場合は金額が異なる。 隣県（広島、福岡、島根）からの入学者⇒毎月1万円支給 その他の都道府県からの入学者⇒毎月2万円支給

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11 人 (%)	0 人 (0%)	11 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） ホテル、旅館、結婚式場、ドレスショップ他			
（就職指導内容） 面接対策、履歴書指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） ホテル実務技能認定試験（初級） 内閣府認可（財）職業技能振興会ウェディングプランナー検定 1 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10 人	1 人	10.0%
（中途退学の主な理由） 進路変更のため		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学校満足度調査、三者面談等の実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	医療事務学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1740 単位時間	930 単位時間	810 単位時間	30 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1770 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		22 人	0 人	1 人	1 人	2 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 授業を講義、演習、実習という3つの履修方法に分け、資格や検定に向けた座学中心の科目を講義、ビジネスマナーやパソコンといった実技を伴う科目を演習、学外で行われるインターンシップや企業実習などの科目を実習としている。 各学科においてディプロマポリシーを満たすことを到達目標としている。 また年2回の教育課程編成委員会において当該業界・企業・団体の外部委員の方からの意見を参考に授業計画を策定し、それを基に作ったシラバスをホームページ上にて公表している。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 以下の GPA 制度を設定し、ホームページ上にて公表。 ① GP は秀、優、良、可、不可評価の各評価に対し、4、3、2、1、0の順に付与する。 ② GPA は、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下二位未満の端数があるときは、これを四捨五入する。 $GPA = \frac{\text{【履修科目の単位数} \times \text{GP】の合計}}{\text{履修した科目の総単位数}}$ 各授業のシラバスにおける成績評価方法に従い成績評価を実施。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 学校関係者評価委員会および教育課程評価委員会の意見をもとにディプロマポリシーを策定しホームページ上にて公表。 以下の卒業要件のもと卒業判定会議を経て卒業を認定。 卒業年次の年度末において次の要件のすべてを満たしていること。 a. 各学科の定める強化科目のうち、必修科目、選択必修科目の成績評価がすべて可以上であり、卒業必要時間数（単位数）を習得している。 b. すべての校納金（学費、教材費等）が納められていること。	

学修支援等
(概要) クラス担任だけでなく就職に関してはキャリアサポート室職員による支援があり、悩みや課題の相談窓口としては学生相談支援係がある。 費用面のサポートとして、公共交通機関を利用しておおむね1時間以上通学に時間がかかる学生には遠距離サポート制度(毎月3000円支給)や、一人暮らしの学生(公共交通機関を利用した場合、おおむね1時間30分以上かかる場合)にはひとりぐらしサポート制度(毎月5000円支給)がある。 ただし以下の学生がひとりぐらしサポート制度を利用する場合は金額が異なる。 隣県(広島、福岡、島根)からの入学者⇒毎月1万円支給 その他の都道府県からの入学者⇒毎月2万円支給

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14人 (%)	0人 (0%)	14人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
病院、診療所、薬局の事務部門や総合職、一般企業の事務職			
(就職指導内容)			
面接対策、履歴書指導			
(主な学修成果(資格・検定等))			
医療事務(医科・歯科)検定、調剤事務検定、調剤事務検定 他			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
27人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
学校満足度調査、三者面談等の実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	ペット総合学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1800 単位時間	450 単位時間	1500 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1950 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50 人		43 人	0 人	2 人	3 人	5 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 授業を講義、演習、実習という3つの履修方法に分け、資格や検定に向けた座学中心の科目を講義、ビジネスマナーやパソコンといった実技を伴う科目を演習、学外で行われるインターンシップや企業実習などの科目を実習としている。 各学科においてディプロマポリシーを満たすことを到達目標としている。 また年2回の教育課程編成委員会において当該業界・企業・団体の外部委員の方からの意見を参考に授業計画を策定し、それを基に作ったシラバスをホームページ上にて公表している。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 以下の GPA 制度を設定し、ホームページ上にて公表。 ① GP は秀、優、良、可、不可評価の各評価に対し、4、3、2、1、0の順に付与する。 ② GPA は、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下二位未満の端数があるときは、これを四捨五入する。 $GPA = \frac{\text{【履修科目の単位数} \times \text{GP】の合計}}{\text{履修した科目の総単位数}}$ 各授業のシラバスにおける成績評価方法に従い成績評価を実施。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 学校関係者評価委員会および教育課程評価委員会の意見をもとにディプロマポリシーを策定しホームページ上にて公表。 以下の卒業要件のもと卒業判定会議を経て卒業を認定。 卒業年次の年度末において次の要件のすべてを満たしていること。 a. 各学科の定める強化科目のうち、必修科目、選択必修科目の成績評価がすべて可以上であり、卒業必要時間数（単位数）を習得している。 b. すべての校納金（学費、教材費等）が納められていること。	

学修支援等
(概要)
クラス担任だけでなく就職に関してはキャリアサポート室職員による支援があり、悩みや課題の相談窓口としては学生相談支援係がある。 費用面のサポートとして、公共交通機関を利用しておおむね1時間以上通学に時間がかかる学生には遠距離サポート制度(毎月3000円支給)や、一人暮らしの学生(公共交通機関を利用した場合、おおむね1時間30分以上かかる場合)にはひとりぐらしサポート制度(毎月5000円支給)がある。 ただし以下の学生がひとりぐらしサポート制度を利用する場合は金額が異なる。 隣県(広島、福岡、島根)からの入学者⇒毎月1万円支給 その他の都道府県からの入学者⇒毎月2万円支給

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20人 (%)	0人 (0%)	20人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
トリマー、ペットショップ店員、動物病院スタッフ			
(就職指導内容)			
面接対策、履歴書指導			
(主な学修成果(資格・検定等))			
トリマー1級、小動物保健福祉士、ペット販売士 他			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45人	4人	8.8%
(中途退学の主な理由)		
進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
学校満足度調査、三者面談等の実施		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程		大学併修科					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
4 年	昼	3240 単位時間		2670 単位時間	1800 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	
				4470 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
20 人		0 人	0 人	1 人		0 人		1 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 授業を講義、演習、実習という3つの履修方法に分け、資格や検定に向けた座学中心の科目を講義、ビジネスマナーやパソコンといった実技を伴う科目を演習、学外で行われるインターンシップや企業実習などの科目を実習としている。 各学科においてディプロマポリシーを満たすことを到達目標としている。 また年2回の教育課程編成委員会において当該業界・企業・団体の外部委員の方からの意見を参考に授業計画を策定し、それを基に作ったシラバスをホームページ上にて公表している。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 以下の GPA 制度を設定し、ホームページ上にて公表。 ① GP は秀、優、良、可、不可評価の各評価に対し、4、3、2、1、0の順に付与する。 ② GPA は、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下二位未満の端数があるときは、これを四捨五入する。 $GPA = \frac{\text{【履修科目の単位数} \times \text{GP】の合計}}{\text{履修した科目の総単位数}}$ 各授業のシラバスにおける成績評価方法に従い成績評価を実施。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 学校関係者評価委員会および教育課程評価委員会の意見をもとにディプロマポリシーを策定しホームページ上にて公表。 以下の卒業要件のもと卒業判定会議を経て卒業を認定。 卒業年次の年度末において次の要件のすべてを満たしていること。 a. 各学科の定める強化科目のうち、必修科目、選択必修科目の成績評価がすべて可以上であり、卒業必要時間数（単位数）を習得している。 b. すべての校納金（学費、教材費等）が納められていること。	

学修支援等
(概要)
クラス担任だけでなく就職に関してはキャリアサポート室職員による支援があり、悩みや課題の相談窓口としては学生相談支援係がある。 費用面のサポートとして、公共交通機関を利用しておおむね1時間以上通学に時間がかかる学生には遠距離サポート制度(毎月3000円支給)や、一人暮らしの学生(公共交通機関を利用した場合、おおむね1時間30分以上かかる場合)にはひとりぐらしサポート制度(毎月5000円支給)がある。 ただし以下の学生がひとりぐらしサポート制度を利用する場合は金額が異なる。 隣県(広島、福岡、島根)からの入学者⇒毎月1万円支給 その他の都道府県からの入学者⇒毎月2万円支給

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果(資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
情報工学科	150,000 円	620,000 円	250,000 円	
情報ビジネス科	150,000 円	620,000 円	250,000 円	
メディアデザイン科	150,000 円	620,000 円	250,000 円	
ホテルブライダル科	150,000 円	620,000 円	250,000 円	
医療事務学科	150,000 円	620,000 円	250,000 円	
ペット総合学科	150,000 円	620,000 円	290,000 円	
大学併修科	150,000 円	620,000 円	250,000 円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.yic.ac.jp/ib/disclosure
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 専門学校の実践的な職業教育の質を確保するため、学校関係者評価委員の方と当校教職員が、学校自己点検・自己評価結果、在校生・卒業生・卒業生の職場の上司へのアンケート結果に基づき、学校の管理運営について議題とし意見交換を行う。 学校評価委員会は、原則として年2回開催する。 1) 主な評価項目(全国専門学校教育研究会の評価項目による) ・ 教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材像等が、明文化しているか上記において職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等を盛り込んでいるか ・ 各学科の教育目標、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みがされているか ・ 各学科の教育目標、育成人材像に向けた教授学習プロセスの改善への取り組みがされているか ・ 各学科の教育目標、育成人材像に向け業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みがされているか ・ 各学科の教育目標、育成人材像に向け教員の資質維持や向上に向けた取り組みがされているか ・ 各学科の教育目標、育成人材像に向けて教育環境が整備・活用されているか ・ 各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか ・ 各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(入学前)(在学時)(卒業後) ・ 意図的・計画的・組織的に社会活動への取り組みが推進されているか ・ 学校の管理・運営体制が確立していること ・ 財務体質が健全であり財務運営が適切に行われているか ・ 各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制が確

立して改革・改善のためのシステム構築がされているか		
2) 評価委員会の構成		
委員の定数：5名以上、（2025年度は8名）		
委員の選出区分：企業4名、職能団体1名、高等学校1名、保護者1名、卒業生1名		
3) 評価結果の活用方法		
改善方策の実施時期：7月～12月		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
保護者代表	2024年4月1日～ 2026年3月31日	学生保護者 (情報工学科)
卒業生代表	2025年4月1日～ 2027年3月31日	卒業生 (ビジネス系学科)
株式会社テクノプロ テクノプロ・デザイン社	2025年4月1日～ 2027年3月31日	企業関係者 (情報工学科)
山口商工会議所	2025年4月1日～ 2027年3月31日	職能団体 (情報ビジネス科)
株式会社 山口グランドホテル	2025年4月1日～ 2027年3月31日	企業関係者 (ホテルブライダル科)
医療法人 博愛会 阿知須共立病院	2025年4月1日～ 2027年3月31日	企業関係者 (医療事務学科)
山口県獣医師会の会員獣医師 なかの動物病院 副院長	2025年4月1日～ 2027年3月31日	企業関係者 (ペット総合学科)
学校法人鴻城義塾 山口県鴻城高等学校	2024年4月1日～ 2026年3月31日	高校関係者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.yic.ac.jp/ib/disclosure		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.yic.ac.jp/ib/disclosure
--